

平成29年 5月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 う る る
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 星 知 也
(コード番号：3979 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 桶 山 雄 平
(TEL. 03-6221-3069)

繰延税金資産の追加計上および通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期決算において下記の通り繰延税金資産の追加計上を行いましたのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、本年3月16日に『東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ』において開示いたしました、平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の業績予想と実績値の間に差異が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社の最近の業績が堅調に推移していることを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を平成29年3月期において95百万円追加計上し、法人税等調整額を△95百万円（△は利益）計上いたしました。

2. 当期の連結業績予想数値と実績値との差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,661	200	179	134	47.66
実 績 （ B ）	1,722	241	214	241	85.98
増 減 額 （ B - A ）	60	41	35	107	—
増 減 率 （ % ）	3.7	20.8	19.8	79.5	—
（参考）前期連結実績 （平成28年3月期）	1,409	△288	△289	△314	△112.36

（注）1. 当社は、平成29年3月16日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしましたが、前回予想の1株当たり当期純利益は公募株式数（250,000株）を考慮した予定期中平均株式数により算出し、平成29年3月30日付オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（191,300株）は考慮しておりません。一方、今回修正予想の1株当たり当期純利益は公募株式数（250,000株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（191,300株）を考慮した予定期中平均株式数により算出しております。

2. 平成28年8月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、上記では平成29年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

（差異の理由）

当期の連結業績実績につきまして、CGS事業、BPO事業ともに売上が堅調に推移し、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。特に当社が展開しております代表的なCGSである入札

情報速報サービス「N J S S」では、会員数及び契約単価が順調に推移したことが売上増加に寄与いたしました。

経費につきましては、第4四半期において、翌期以降に予定していた一時費用を一部当期において前倒しで使用したことや従業員への特別賞与を実施しましたが、採用活動を慎重に進めたことにより人員計画に比して採用のタイミングが遅れたこと、上場に伴う体制整備のための一時投資に係る費用が前回予想よりも発生しなかったこと等により経費が前回予想を下回りました。

以上の結果、営業利益及び経常利益が前回予想を上回りました。

営業外損益につきましては、当初見込んでいた株式公開費用に関し実際発生額が低かったこと等により営業外費用は前回予想を下回ったため、経常利益が前回予想を上回りました。

また、「1. 繰延税金資産の計上について」に記載の通り、前回予想において見込んでいなかった繰延税金資産を本年度決算において一部計上したため、法人税等が予想を下回り、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回りました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回予想を上回りました。

以 上